

いま、日本文学の環境が大きく変わりつつあります。文学作品とは読者にとって、  
どのようなものなのか。詩歌、小説の名作を読む意義をあらためて確認しながら、  
これからの新しい読書の世界を見つめたいと思います。

# これからの 読書のすがた

荒川洋治  
現代詩作家

日時:2016年12月4日(日)13:30開始  
(13:00開場)

場所:えんぱーく3階多目的ホール

定員:60名(先着順)参加費無料

当日は著書販売とサイン会があります。



荒川洋治 (あらかわ・ようじ)

1949年福井県生まれ。早大卒。詩集『渡世』(第28回高見順賞)、『空  
中の茱萸』(第51回読売文学賞)、『心理』(第13回萩原朔太郎  
賞)、エッセイ・評論集『忘れられる過去』(第20回講談社エッセイ  
賞)、『文芸時評という感想』(第5回小林秀雄賞)、『詩とことば』  
(岩波現代文庫)、『文学の空気のあるところ』など。最新刊は、詩集  
『北山十八間戸』(気争社)、エッセイ集『過去をもつ人』(みすず書房)。

【お問い合わせ・お申し込み】 塩尻市立図書館本館 電話:0263-53-3365(毎週水曜休館)

主催 塩尻市・塩尻市教育委員会  
企画 長田 洋一(編集者・元河出書房新社『文藝』編集長)  
顧問 永井 伸和・山野 浩一・常世田 良  
後援 塩尻書店組合・長野県出版協会・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タ  
イムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ(株)・テレビ松本  
ケーブルビジョン・abn長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・日本ハイコム(株)